

看護おきなわ

Vol. 121
February 2026



「訪問看護ステーションおしん」の皆さん

CONTENTS

- 新年のご挨拶 2
- 受賞祝賀会並びに新年会について 3
- 改選役員・代議員・予備代議員立候補並びに推薦について 6
- 理事会報告 6
- 特集 あなたのウェルビーイングが、看護の力になる 7
- 健康づくりサークルの紹介 8
- 新人看護師奮闘記 9
- 施設紹介 10
- 教育課だより 11
- ナースセンターだより 13
- 委員会及び地区委員会活動報告 14
- 大正琴サークル終了のお知らせ 15
- 医療安全情報レポート 16

沖縄県看護協会会員数

(令和8年1月現在)

保健師	269名
助産師	407名
看護師	8,862名
准看護師	237名
合計	9,775名

公益社団法人 沖縄県看護協会



ホームページ



Youtube

新年のご挨拶



公益社団法人 沖縄県看護協会
会長 平良孝美

謹賀新年

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、我が国の政局が大きく変動した年でした。とりわけ、物価高騰は医療界にとって非常に大きな経営圧迫要因となり、看護職の処遇改善は人手不足も深刻化する中で、一般産業に比べて厳しい状況にありました。このことから、看護政策を着実に推進することの重要性を改めて痛感いたしました。しかし、そのような中にありましても、医療関係団体は一致団結して国に対して改善を求める行動を起こすなど、連携を強化してまいりました。その活動が、今年の診療報酬改定において医療機関の経営基盤の安定と従事者の処遇改善に明るい兆しをもたらすものと確信しております。

現在、日本の医療提供体制は従来入院・治療を中心とした「病院完結型」から、住み慣れた地域で医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」への転換が進められています。一方で、看護・介護の人材不足は深刻な課題であり、国は現行の地域医療構想を改め、入院医療だけでなく外来医療、在宅医療、介護との連携、人材確保等を含めた「新たな地域医療構想」の策定を進めようとしています。これは、限られた資源を最適化し、地域全体で支えあう体制を構築するための重要な局面といえます。

昨年6月に日本看護協会は「看護の将来ビジョン2040 いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」を公表し、2040年へ向けて看護職が目指す方向性を示しました。看護職のあるべき姿の実現に向けて、本会も戦略的に看護の質の向上や人材確保、多様で柔軟な働き方への転換等の取り組みを進めてまいります。

先日、恒例の受賞祝賀会・新年会を約330人の参加者で開催しました。令和7年の叙勲受章者や健やか親子21内閣府特命担当大臣表彰、厚生労働大臣表彰を受賞された看護職の方は5名で、皆様にご出席くださいました。本会名誉会員をはじめ多くの先輩方のご参加もあり、心温まる祝宴となりました。

本年も、会員施設、日本看護協会、県行政等関係機関と連携を図りつつ看護職一人ひとりの可能性を最大限に発揮できるよう活動していく所存です。

これまで同様、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

「受賞祝賀会並びに新年会」を開催しました

令和8年1月10日(土)、ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城において、受賞祝賀会並びに新年会を開催しました。当日は、受賞者5名をはじめ、会員の皆様や来賓の皆様など、約330名の方々にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で交流を深めるひとときとなりました。



受賞者の皆様と県看護協会会長、副会長、専務理事

令和7年叙勲並びに厚生労働大臣表彰者等

瑞宝単光章 (看護業務功労)	系数 ちえみ	国立大学法人琉球大学 琉球大学病院
健やか親子21 内閣府特命担当大臣表彰 (功労者表彰)	島袋 富美子	公益社団法人 沖縄県看護協会
厚生労働大臣表彰 (公衆衛生事業功労)	玉城 浩江	沖縄県北部保健所
厚生労働大臣表彰 (精神科看護業務功労)	渡慶次 智子	沖縄県立看護大学
厚生労働大臣表彰 (精神保健福祉事業功労)	友利 悦子	公益社団法人 沖縄県看護協会



受賞者代表挨拶

本受賞は、先輩方や仲間に支えられ、世代を超えて積み重ねてきたチームとしての看護実践が評価されたものと、心より嬉しく存じます。

ご指導いただいた知恵と工夫は、看護実践を通して人々の自立や社会復帰を支え、私の看護観の原点となりました。これまで支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。

医療が地域完結型へ移行する中、「治し支える」看護の役割が一層重要になっています。今後も地域や家族への支援を大切に、研鑽を重ねながら社会に貢献できる看護の実践に努めてまいります。

受賞者代表 渡慶次 智子

※本稿はご挨拶文を要約して掲載しています。

令和7年 沖縄県知事表彰等受賞者

沖縄県知事表彰

【看護の日】

崎 浜 礼 子	医療法人タピック 宮里病院
古波倉美登利	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
柴 山 順 子	公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会病院
儀 部 郁 枝	医療法人おもと会特定施設入居者生活介護かみはら
奥 原 弘 美	社会医療法人葦の会オリブ山在宅医療支援センター
眞 榮 城 智 子	国立大学法人 琉球大学 琉球大学病院
安 座 間 和 美	沖縄県立北部病院
榮野川喜美子	国立大学法人 琉球大学 琉球大学病院
宮 城 章 子	医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院
喜友名ゆかり	公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会病院

【沖縄県公衆衛生大会】

日本看護協会会長表彰

系 洲 名 子	沖縄県南部保健所
比 嘉 真 利 子	個人会員
水 田 厚 子	個人会員

日本公衆衛生協会会長表彰

桃 原 智 美	公益社団法人 沖縄県看護協会
---------	----------------

沖縄県母子保健大会会長表彰

田 沢 広 美	沖縄県八重山保健所
---------	-----------

沖縄県公衆衛生大会会長表彰

新 城 尚 子	沖縄県中部保健所
---------	----------

沖縄県保健所長会長表彰

座 嘉 比 照 子	沖縄県北部保健所
-----------	----------

沖縄県精神保健福祉協会会長表彰

【優良精神保健福祉事業関係者】

屋 嘉 比 浩 子	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
-----------	------------------------

沖縄県精神保健福祉協会会長表彰

【永年勤続者】

兼 久 正 二	沖縄県立精和病院
新 城 芳 光	医療法人博寿会 もとぶ記念病院
石 垣 美 奈 子	医療法人卯の会 新垣病院
兼 浜 直 人	社会医療法人へいあん 平安病院
諸喜田留美子	医療法人一灯の会 沖縄中央病院
知 花 あ ず さ	医療法人一灯の会 沖縄中央病院
粟 國 美 由 紀	学校法人おもと会 沖縄看護専門学校
安 次 富 保	沖縄県立精和病院

沖縄県看護協会会長表彰



来賓祝辞



県保健医療介護部 系数公 部長



県医師会 田名毅 会長

乾杯の音頭



元副会長 垣花美智江

沖縄県看護協会会長表彰



宇 良 久 美 子	沖縄県立北部病院
大 城 美 恵 子	公益社団法人 沖縄県看護協会
賀 数 い づ み	沖縄県立看護大学
兼 久 正 二	沖縄県立精和病院
嘉 陽 晴 美	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
金 城 直 美	医療法人敬愛会 翔南病院
呉 屋 光	医療法人球陽会 海邦病院
佐 久 川 政 吉	沖縄県立看護大学
島 袋 す が 子	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
島 元 ゆ み	地方独立行政法人 那覇市立病院
下 地 紀 靖	公立大学法人 名桜大学
高 良 寿 賀 子	日本赤十字社 沖縄赤十字病院
照 屋 典 子	国立大学法人 琉球大学
當 山 詩 子	学校法人湘央学園 浦添看護学校
徳 田 京 美	国立大学法人 琉球大学 琉球大学病院
友 寄 寿 美 子	医療法人徳洲会 南部徳洲会病院
中 野 久 乃	医療法人はごろも会 那覇ゆい病院
西 原 さ ゆ り	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
比 嘉 憲 枝	公立大学法人 名桜大学
備 瀬 珠 美	沖縄県立北部病院
又 吉 慶	地方独立行政法人 那覇市立病院
松 元 由 美 子	社会医療法人 葦の会 オリブ山在宅医療支援センター
嶺 井 亜 希 子	地方独立行政法人 那覇市立病院
恵 和 枝	那覇市医師会 那覇看護専門学校
与 那 覇 和 美	国立大学法人 琉球大学 琉球大学病院

所属は推薦時のご所属となります。

アトラクション&会場の様子



令和8年度沖縄県看護協会改選役員及び 令和9年度日本看護協会代議員・ 予備代議員立候補並びに推薦について

令和8年6月20日(土)開催の沖縄県看護協会通常総会において、「令和8年度沖縄県看護協会役員の改選」並びに「令和9年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出」を行います。立候補される方は所定の届出書により届け出をお願いいたします。

令和8年度沖縄県看護協会改選役員及び改選数

副会長(保健師、助産師)	2名
専務理事	1名
常任理事	1名
職能理事(保健師、助産師)	2名
地区理事(那覇、南部各1名)	2名
全区理事(保健師、看護師)	2名
監事	1名

立候補の届出書の提出は令和8年2月27日必着です。立候補にあたっての留意事項や届出書は沖縄県看護協会ホームページよりご確認ください。
〈沖縄県看護協会HP〉
www.oki-kango.or.jp

令和9年度日本看護協会代議員及び予備代議員

	代議員 10名 (立候補枠 5名)	予備代議員 11名 (立候補枠 5名)
保健師	1名	1名
助産師	1名	1名
看護師	2名	2名
准看護師	1名	1名



理事会報告

第5回理事会 令和7年12月20日(土)

〈協議事項〉

1. 令和8年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
2. 令和7年度12月補正予算について
3. 退会届出に関する規程について
4. ともしび編集委員会の廃止および会報委員会への機能統合について

〈報告事項等〉

1. 令和7年度中間監査(4月~9月)について
2. 令和8年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について

3. 2025年日本看護協会地区別法人会員会(於:大分県)について
4. 沖縄県看護協会 研修等(一般研修)の受講料について
5. 2026年度の教育計画について
6. 表彰者の決定について
 - ・第59回沖縄県母子保健大会大会長表彰
 - ・沖縄県母子保健大会における県知事表彰
7. 施設代表者会議の結果について
8. 第40回沖縄県看護研究学会学術集会について
9. 令和8年度年間行事日程について
10. 会員状況について

特集 あなたのウェルビーイングが、看護の力になる

新たな働き方 リフレッシュ休暇 3weeks へのチャレンジ!

社会医療法人 敬愛会 中頭病院
仲宗根ゆかり 宜保真由美

学生には夏休みや長期休暇がありますが、社会人、とりわけ看護師には「まとまった休み」を取る機会がほとんどありません。そこで当院では、スタッフの「一度しっかり休みたい」「家族と過ごす時間がほしい」という声をきっかけに、いきいきと働き続けるための取り組みとして、三週間のリフレッシュ休暇制度を導入しました。

本格導入に先立ちトライアル期間を設け、業務への影響や職場の負担感、取得者本人の満足などを丁寧に検証しました。その結果、業務調整は十分に可能であり、休暇後のモチベーション向上やオン・オフの切り替えが明確になるなど、組織にとってもプラスの効果が確認されました。これを受け、2年前から本格運用を開始しています。

さらに今年度からは、フローティング休暇を新たに10日間へと拡充しました。看護部全員が平等に、自身のタイミングで取得できる休暇を増やすことで、ライフイベントや心身のリフレッシュに柔軟に対応できる体制を整えています。

実際にリフレッシュ休暇を終えたスタッフからは、「旅行や家族孝行ができた」「また頑張っていきたい」といった声が聞かれ、休暇を十分に満喫した喜びとともに、学習意欲や勤続意欲の向上にもつながっていると感じています。

休みを取ることは、「楽をするため」ではなく、「長く、質の高い看護を続けるため」の投資です。スタッフの生活と仕事が無理なく両立できる仕組みを整え、安心して働き続けられる職場づくりに、今後も取り組んでいきたいと考えています。



看護おきなわ健康21委員会 健康づくりサークルの紹介

委員長 眞榮田 義史

中頭病院のバレーボールサークルを紹介します！

看護おきなわ健康21委員会では、看護師の皆さんの健康づくりを応援しています。緊張感の高い医療現場で働く看護師にとって、業務後のリフレッシュはとても大切です。今回は、サークル活動を通して部署や職種を超えた交流を深め、心身の健康づくりに取り組む様子を取材しました。

中頭病院バレーボールサークルに所属する看護師の比嘉 廉さんは、学生時代からの経験を活かし、新人時代に先輩の誘いで入会しました。現在まで約10年間、活動を続けています。活動を継続している理由について、バレーボールの楽しさはもちろん、サークルを通して他部署の職員と顔見知りになり、交流の輪が広がったことも大きな魅力だと話してくれました。

取材日には18名が参加し、ペアでのウォーミングアップの後、グループに分かれて試合形式の練習が行われていました。サークルには経験者だけでなく初心者も在籍しており、この日は職員のお子さんや看護学生も参加していました。サークル長が経験のバランスを考慮してチーム分けを行うなど、誰もが活躍できるよう工夫されています。メンバーの楽しそうな表情がとても印象的でした。

参加者にとってサークル活動は、健康づくりやリフレッシュにつながるだけでなく、仕事への活力にもなっていると感じました。

看護おきなわ健康21委員会では、看護職が健康に働き続けられるよう、今後も各職場のサークル活動を紹介していきます。「自分たちのサークルも紹介してほしい」という皆さんは、ぜひお声かけください。一緒に健康づくりの輪を広げていきましょう。



中頭病院バレーボールサークルの皆さん

新人看護師 奮闘記

新人看護師 奮闘記

その①

社会医療法人友愛会 友愛医療センター
仲元 このか



幼い頃からの夢であった看護師になり、9か月が経ちました。私は消化器内科病棟で勤務しています。右も左も分からなかった4月に比べ、現在は業務にも慣れ、1人でできることが増え、成長を実感する日々を過ごしています。

例えば、消化器内科特有の腹水穿刺や肝生検の介助に一人でつけるようになったこと、また患者さんの状態が変化した際のアセスメント力が身についてきたことなど、学びの多い毎日です。

できることが増えてきた一方で、課題も見えてきました。業務の忙しさに追われ、患者さんへの対応が粗末になってしまうことや、情報伝達の漏れなどのミスが目立つようになったことです。

そんな時に支えとなっているのが同期の存在です。私には同部署に同期が3人おり、月に1度は食事に行き、仕事での悩みを共有することで気分転換を図っています。また、勤務が重なった際には業務中に「今どんな感じ?」「大丈夫?」と声を掛け合い、お互いに気に掛け励まし合いながら業務を行っています。

先輩方もとても優しく、私が困っている際には指示やアドバイスを丁寧にしてくださり、本当に感謝しています。

入職して9か月、まだまだ不安はありますが、できたことは素直に認め、自分自身の課題に向き合い、改善しながら成長していきたいです。知識と技術を身につけ、丁寧な対応を心掛け、患者さんはもちろん、周囲の方々からも信頼される看護師になれるよう精進していきます。

新人看護師 奮闘記

その②

地方独立行政法人 那覇市立病院
内視鏡センター看護師 糸村 董



内視鏡センターに配属されて9か月が経ちました。内視鏡に関する知識は乏しく、実習経験もなかったため、私にとっては未知の領域であり、配属当初は不安でいっぱいでした。しかし、部署の先輩方が優しく丁寧に指導してくださり、恵まれた環境の中で成長することができ、現在では一人立ちして行える業務も多くなりました。

内視鏡センターの主な業務内容は、内視鏡検査中の医師の介助や薬剤管理、患者さんの状態管理などです。そのため、日々のケアやアセスメントを行いながら個別的な看護を展開する機会が少なく、「看護とは何か」と思い悩むことも多くありました。

しかし、先輩方の患者さんとの関わり方を見ていく中で、検査中の声かけやタッチングなどを通して、患者さんが安心・安全に検査を受けられるよう支援することも、看護の大切な役割の一つであることに気づきました。

また、内視鏡検査では医師、臨床工学技士、放射線技師など、さまざまな医療職と関わる機会があり、多職種連携の実践を学ぶことができます。看護とは異なる視点からの意見を聞くことで、新たな気づきや学びを得ることもできました。

これらの経験を通して、今後も自分自身の看護観を深めながら実践し、多職種と関わるができるという利点を生かして、視野を広げ、多くの経験を積んでいきたいと考えています。まだまだ未熟ではありますが、自己研鑽を欠かさず、日々成長していけるよう努力していきたいと思っています。

新人看護師奮闘記

その③

医療法人おもと会 大浜第二病院
新里 夕凜



新人看護師として慢性期病院に就職し、7か月が経ちました。日々学びながら患者さんと向き合う中で、基礎的な看護技術を一つ一つ身に付けていくことの大切さを実感しています。

慢性期では、急激な変化よりも「いつもの状態」を把握することが重要であり、バイタルサインや普段の様子など、わずかな変化にも気づくことができる観察力を磨くことが、私の大きな目標です。また、体位変換や排泄援助、整容などの基本的なケアは、患者さんが安楽な療養生活を送るうえで欠かせないものであるため、一つ一つのケアを丁寧にいき、質の高い看護を提供できるよう努めています。

私の病棟では看取りの場面も多く、患者さんだけでなく、ご家族にとっても大切な時間に関わる機会があります。「人生の最終段階に寄り添う看護」は、まだ不慣れで緊張することもあります。ご家族の思いに耳を傾け、安心して過ごしていただけるような環境づくりに努めたいと考えています。患者さんにご家族の両方を支えることが、慢性期看護の重要な役割の一つであり、その責任を自覚しながら経験を積んでいきたいです。

まだまだ未熟ではありますが、先輩方から多くを学びながら知識と技術を着実に身に付け、患者さんやご家族に信頼していただける看護師を目指して、成長していきます。

施設紹介

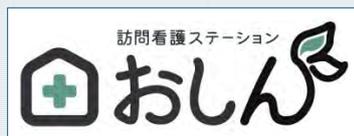
訪問看護ステーションおしん

看護おきなわ121号の表紙の沖縄県のやんばる地域
(大宜味村・国頭村・東村)を拠点に活動している
訪問看護ステーションおしんを紹介します。



〈ロゴマークの由来〉

ロゴマークが2つあります



ロゴマークには、やんばるの豊かな自然をイメージした「緑」を基調に、自然の中で、安心して医療・看護を受けられる存在でありたいという想いを込めています。



更に「訪問看護ステーションおしん」をわかりやすいロゴにしています。

名称である「おしん」は、

- ① 高齢者の方にも覚えやすいこと
 - ② 呼びやすく、親しみやすいこと
 - ③ 献身的に寄り添うイメージが伝わること
 - ④ 一生懸命さ・誠実さが自然に想起されること
- これらを大切に、ネーミングしました。

過疎地域に暮らす高齢者の方や、医療・看護を必要とする方々へ、一人ひとりに寄り添い、隅々まで支援が届くように。

「おしん」が持つやさしさと力強さを、やんばるの地から発信していきたいと考えています。

教育課だより

令和7年度沖縄県専任教員養成講習会を終えて

2025年12月12日、令和7年度沖縄県専任教員養成講習会閉講式が開催され、13名全員が修了証を授与されました。約8か月の研修を修了した受講生は、今後看護教育の実践者としての活躍が期待されます。本稿は、沖縄県立中部病院の島仲博也さんによる受講生代表挨拶文です。

令和7年度沖縄県専任教員養成講習会閉講式 受講生代表挨拶

沖縄県立中部病院 島仲 博也

新緑が生い茂る清々しい5月、沖縄県専任教員養成講習会に13人の多様な経験をもつ受講生が集いました。8か月間、共に励まし支え合いながら学びを深めてまいりました。私たちが学んできたこの8か月間の道のりについてお伝えします。

『看護論演習』では、先人が築いてきた看護の定義を学び直し、経験を共に振り返りながら、自己のもつ看護観を明確にしました。看護の知を言語化し、私たちがこれから担っていく様々な看護実践活動の基盤を築く事ができました。

『看護教育課程論演習』では、どのような看護師を育成したいか、お互いの願いを大切にしながらカリキュラムをデザインする楽しさを実感する事ができました。仲間たちから生み出される素晴らしい発想に驚き、考えを共有しながら、学校作りを通して目指していることを再認識するとともに、講義や演習、実習による教育に一貫性を持たせる大切さについて学びました。

『看護教育評価論演習』では、評価の基準や評価内容の重要性を学びました。教育目標や教育内容、指導方法はすべて評価に繋がっているということが理解でき、看護教育評価の本質は、学習者の順番付けや選別ではなく、学習者の成長を確かめ、次へ繋がる自己の課題を明確にするためにあるのだと学ぶことが出来ました。

『看護教育方法論・専門領域別看護論演習』では、多くの時間を使って指導案作成に励みました。何度も教材観、学習者観、指導観に立ち戻りながら、どうすれば学生が関心を持つのか、学習の動機付けに繋げていくために必要な要素を考えました。作成した指導案を基に臨んだ教育実習では、数多くの貴重な経験を得る事ができました。看護師になりたいと願う学生の素直さ、熱心さに刺激を受け自己を奮い立たせて、考案した看護教育を実践しました。学生への教育活動を実践する過程で、学生と相互に影響し合いながら学びを深めている事を実感しました。

看護教育は、看護基礎教育、看護卒後教育、看護継続教育、どの段階であっても成人教育です。講習会を通し、成人教育において教育の主体は学習者であり、教育の答えは学習者自身がもっている事に気づきました。私たち自身が学習者とともに学び、ともに育つ看護職として学習者を尊重し、大切にに関わりあう姿勢を持ち続けていく事が重要であると理解しました。

現在、疾病構造の変化や少子超高齢社会の進展など医療をめぐる状況は大きく変わり始めています。看護師には、対象者の複雑性、多様性に対応した、より総合的な看護ケアの提供が求められています。これからの社会における医療ニーズに対応できる看護師を育成していくための課題は様々ありますが、そこにおいてはより一層、看護師が主体性をもち、生涯学び続けていく姿勢が求められると考えます。私たちは本講習会での学びを、看護の専門性や魅力を伝えながら、生涯学び続ける看護職の育成に向けて活かすよう努める所存です。

講習会は、看護基礎教育に関するディスカッションを仲間たちと数多く行い、新たな気づきを得るとともに、自己を深く見つめ直す機会となりました。この13人で語り合った経験は、これからの看護人生にとっての財産となるものと確信しています。この場を借りて、受講生の仲間たちへ感謝を伝えたいと思います。

ここで得た学びを実践に繋げていく時が来ました。これからも、困った時にはいつでも意見を交わし、看護師・看護教育者として互いを高め合っていきましょう。

今回、沖縄県専任教員養成講習会の企画、運営にご尽力くださいました沖縄県保健医療介護部保健医療総務課、沖縄県看護協会の皆さまに心より感謝申し上げ、受講生一同の代表挨拶とさせていただきます。



〈新たな認定看護管理者教育課程の見直しについて〉

日本看護協会は、全国のあらゆる組織・機関の看護管理者の能力を強化し、多様化するニーズに応え続けていくために、認定看護管理者教育の見直しのみならず、看護管理者育成のための教育・研修を体系化し、全国の看護管理者の受講を促進する教育・研修体制の構築をしました。これまでの認定看護管理者教育課程のファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルを、「看護管理研修(付加研修を含む)」と「新たな認定看護管理者教育課程」とし、段階的な教育・研修体系とする。

今後の本会の認定看護管理者教育課程のスケジュールは以下の通りになっています。尚、2026年度は、ファーストレベル1回、現行のサードレベル1回予定開催予定です。

2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
現行 ファースト サード		新たな認定看護 管理者教育課程 20名×1回		新たな認定看護 管理者教育課程 20名×1回
	付加研修 50名×2回		付加研修 50名×2回	付加研修 50名×2回
		看護管理研修 50名×1回	看護管理研修 50名×1回	

補足) 付加研修は、従来のファーストレベル修了者が新たな認定看護管理者教育課程を受講するための要件となる研修です。

ナースセンターだより

第84号

沖縄県委託事業 看護職の就労環境改善推進事業

安心して働き続けられる就労環境改善に向けたセミナー開催報告

《働き方改革セミナーⅠ》

— 看護業務の効率化・生産性の向上の実現 —
令和7年9月25日(木)

参加39施設 (108名)

【講演】

- ① 始業前労働の改善に向けた取り組み
医療法人巖桜会 枳内病院 看護師長 千葉由実他2名
- ② 前残業を削減し看護師の働き方改革を実現
埼玉県済生会加須病院 看護課長 柳井千恵

【看護業務改善事例報告会】

【～ゆいまーる業務改善inおきなわ～】

- ① 医療法人球陽会 海邦病院
「眠りスキャン導入によるケアの質改善と看護師の負担軽減への取り組み」
- ② 社会医療法人敬愛会 中頭病院
「患者に関心を持ち心に届く看護の提供を目指して」
～セル看護提供方式の活用
- ③ 地方独立行政法人 那覇市立病院
「前残業ゼロを目指し」



ゆいまーる in おきなわ
授賞式の場面

報告事例は
ナースセンター
ホームページに
掲載中

《働き方改革セミナーⅡ》

— 看護職の就労継続が可能な働き方の実現に向けて —
令和7年10月23日(木)

参加40施設 (82名)

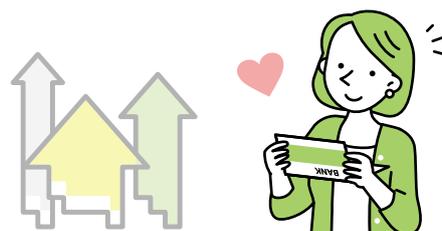
【講演】

- ① 賃金制度改定後の留意点と必要なステップ
医療勤務環境改善支援センター
社会保険労務士 加藤浩司
- ② 急性期病院における処遇改善の取り組み
済生会熊本病院 看護部長 牛島久美子

【シンポジウム】

テーマ:役割と能力に応じた処遇を目指して!
頑張っている職員が報われる処遇を目指して!

- ① 看護職能委員会
「看護職員の処遇改善に関する実態調査」
- ② 医療法人 那覇ゆい病院
「キャリア連動型賃金制度導入の実現に向けた
取り組みと成果」～今後の展望を見据えて～
- ③ 北中城若松病院
「その人らしい成長を支える人材育成制度」



《セカンドライフセミナー》

- 対象: 定年退職や早期退職予定の看護職 (概ね50歳以上)
- 令和7年8月19日(火)、11月11日(火) ● 参加者 計57名

【講演】

- これからの働き方と社会保険の基礎知識.. 社労士 岡 輝一
- プラチナナース体験談..... 看護師 石川ちえみ
- プラチナナース活躍のために..... センター長 兼城綾子

在職中の経験や学びが
今に繋がっていること
等熱く語ってくださ
いました。

写真: 石川ちえみさん



● 受講者の感想

- ・年金受給について考えが変わった
- ・自分のライフプラン、働き方を見つめ直したい
- ・まだまだ働かなくちゃ! 再挑戦もいいな!

災害看護対策委員会 活動の取り組み状況 委員長 宜保 加津子

災害看護対策委員会は、1. 改正医療法に基づく災害・感染症医療従事者の業務体制に関する周知、2. 災害看護支援ナースの資質向上のための支援、3. 災害訓練の実施および参加、以上の任務に沿って活動しています。

令和7年度は、①周知活動として、各施設長との連携やポスター作成を行いました。②資質向上のための支援では、新たな災害支援ナース養成研修の演習について、8月(受講者35名)および11月(受講者37名)の研修支援を行いました。

また、③災害訓練の実施・参加として計画していた「沖縄県総合防災訓練」への参加は実現できませんでしたが、社会医療法人敬愛会中頭病院(地域災害拠点病院、災害支援ナース養成者数12名)で実施された災害訓練(11月29日)を見学させていただきました。

中頭病院の訓練では、災害看護支援ナースがファシリテーターとして3名配置され、主体的に活躍している姿が印象的であり、深い感動を覚えました。

今後も、災害支援ナースの育成に向けた周知活動および資質向上のための支援に、継続して取り組んでいきます。



災害支援ナースがエリアのファシリテーターとして活躍中

那覇地区委員会 活動と取り組み 地区長 知花 徳高

那覇地区委員は、那覇市・浦添市・豊見城市の各病院から選出された7名で構成され、地域における看護の魅力発信および健康づくり支援に取り組んでいます。

今年度は、看護の日イベントの開催、那覇高校・小禄中学校・松島小学校での出前授業、ならびに那覇健康フェアへの参加を実施しました。看護の日イベントでは、看護体験を通して看護師の仕事内容や役割について伝えました。出前授業では「看護への道」と題し、看護師になるまでの進路や多職種連携、現場で求められる姿勢について講話を行いました。

また、手洗い方法の実践やバイタルサイン測定などの演習も実施し、学生からは「看護師に向いている人はどのような人ですか?」「なぜ看護師になろうと思ったのですか?」といった質問が寄せられ、看護への関心の高さがうかがえました。

さらに、健康フェアではウォーキング参加者を対象に血圧・体脂肪測定や健康相談を行い、地域住民の健康増進に寄与しました。

今後も業務と両立しながら、看護への理解と関心を深める活動を継続していきたいと考えています。

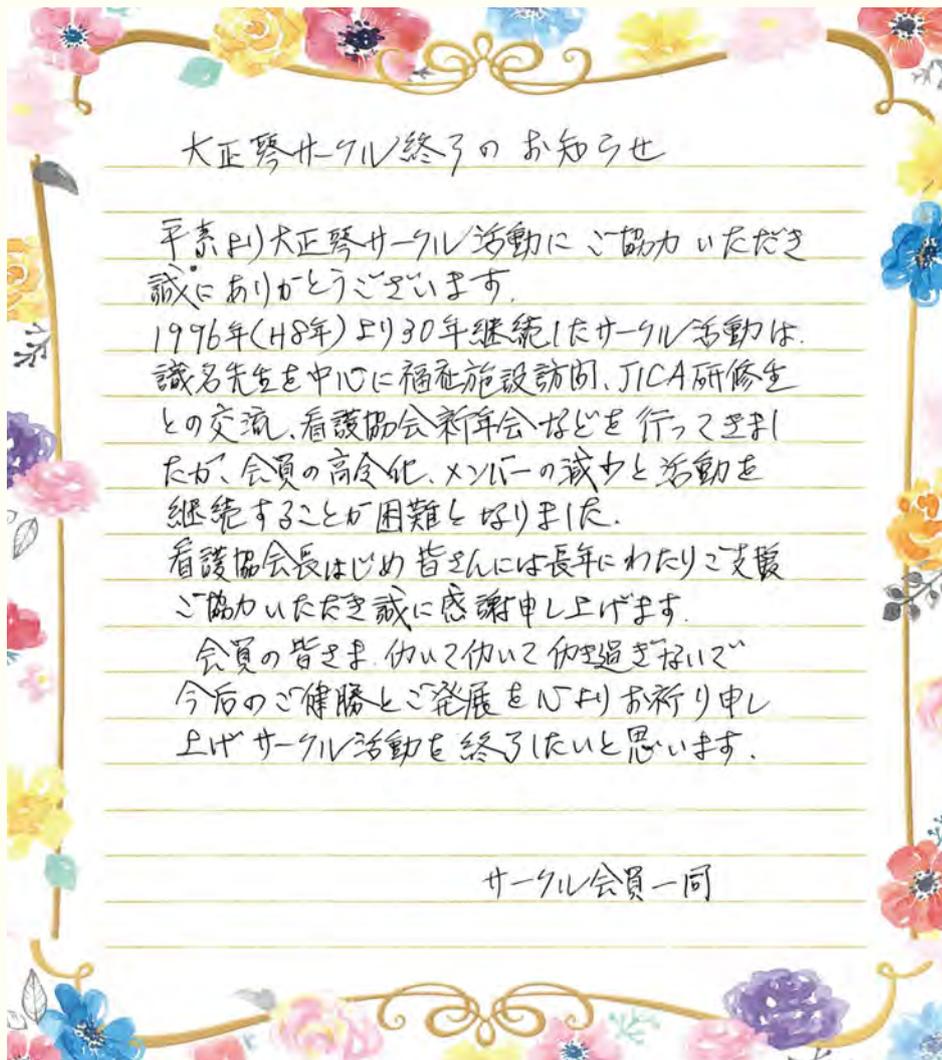


「大正琴サークル」終了のお知らせ

長年親しまれてきた大正琴サークルは、去った2025年12月17日をもって、その活動を終了いたしました。約30年にわたり、音楽を通じた交流の場として活動を続けてこられたサークル会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

以下に、サークル会員の皆さまからのメッセージを掲載いたします。

長い間、本当にありがとうございました。



感謝状贈呈



大正琴サークルの皆さま

第31号 医療安全情報レポート

「忙しさが生む“見落とし”に気づく」 ～余裕がないときに起きる判断のズレ～

看護現場では、急な対応や複数のタスクが重なり、“普段なら気づけるはずのこと”に気づけなくなる瞬間があります。これは個人の能力の問題ではなく、忙しさによって**注意や判断が偏ってしまう**人間の特性です。

忙しい場面で起きやすい“見落としのメカニズム”と、明日から実践できる簡単な予防の工夫を紹介します。

1. なぜ忙しいと“見落とし”が増えるのか

複数のタスクや時間的なプレッシャー…

- 注意が狭くなる
- 確認行動の省略
- 思い込みが強くなる
- 判断が早まりやすくなる



点滴ルート確認や投薬確認、指示確認、“見ているつもり”でも抜け落ち

2. 忙しいときに起きやすい“典型的な見落とし”

- 確認が簡略化
 - 口頭指示を“わかったつもり”で受け取る
 - 観察の遅れから変化を見落とす
 - 患者の訴えへの対応が後回しになる
- これらは、忙しい時間帯の典型的なパターン



3. 忙しい時こそ役立つ“安全の工夫”

- 一時停止して深呼吸 (STOP!)
- 少しの違和感も早めに共有
- 手順が多い作業は複数名で確認
- 周囲の環境を整えて判断の負担を減らす

どれも小さな行動ですが、忙しい場面ほど効果が高まります。



Check!

忙しさに気づくことが事故を減らす第一歩

忙しさは誰にでも起きる状況であり、見落としや判断のズレを生みやすくします。一人で抱えず、チームで忙しさを共有、丁寧な確認を行う事で、安全は大きく高まります。「あー、忙しい」と言ったときには、「あっ！ミスがおこりやすい」と思い出してください。

参考資料：日本医療機能評価機構, 医療事故情報収集事業

編集後記

新しい年の始まり、沖縄の柔らかな冬の陽ざしに包まれながら、看護の温もりを改めて感じています。今年は午年です。縁起の良い言葉として知られる「馬九行(うまくいく)」には、物事がすべて順調に進むようにとの願いが込められています。会報委員会も、地域とともに歩む看護の情報発信が「うまくいく」一年となるよう、今年も心を込めて活動してまいります。

